

市長から市民のみなさんへ

副市長が決まりました

6月10日から市議会（定例会）が始まりました。初日に議会から市長提出の副市長案に同意していただき、早速、山縣総務部長を副市長に任命しました。山縣さんは、旧小野田市出身で、研究熱心な理論家肌の一般行政職出身の人です。早く2馬力にギア・チェンジして、様々な課題に取り組みたいと考えています。後任の総務部長には、杉本総務部次長を任命しました。

国民健康保険特別会計についてお詫びします

既にマスコミなどでご承知かと思いますが、平成20年度の国保会計で2億3千万円という大変な赤字を出してしまいました。原因の詳細は調査中ですが、後期高齢者医療制度の創設など複雑な事情が絡んでいて、過小に保険料を算定したことが最大の理由のようです。この赤字の埋め合わせは別に考えることにして、平成21年度の保険料は、単年度で赤字が出ないように是正しました。保険料は、県下13市中、これまで平均以下だったものが、平成21年度は上から3番目の高額となり、国保を利用するみなさんに大変申し訳なく思っています。

市政懇談会を開催します。

市長2期目の今後4年間のまちづくりについて、市長が市民のみなさんと意見交換するため、7月下旬から8月上旬にかけて、中学校区ごとに市政懇談会を開催します。詳細は広報7月15日号でお知らせします。多くの市民のみなさんのご参加をお願いします。

93
山陽小野田市長 白井 博文

就任

副市長



やまがた はじめ
山縣 始 (59歳)
<郷>

6月10日付けで副市長に選任。昭和48年から旧小野田市役所に奉職。合併後、広報広聴課長、市長公室長、総務部長を歴任。

「市民のために、市民とともに」の精神で市長を補佐し、郷土「山陽小野田市」の発展のため尽力します。どうぞよろしくお願ひいたします。

再任

教育長

えざわ ただし
江澤 正思 (55歳)
<西下津一>

ふるさとへの手紙



サポート寄附（ふるさと納税）をしていただいた方からのメッセージをご紹介します。引き続き、サポート寄附の募集を行っています。市外にお住まいのご家族、お知り合いの方へのお声かけをよろしくお願いします。【問い合わせ先：企画課 ☎ 82-1130】



近藤千穂子さん（福岡県在住）

おのだサンパークで開講されている「よみうりKRY文化センター小野田」の“自彌術”の講師として招かれ25年が過ぎました。“自彌術”とは、大正5年に日本人のために創られた健康治療体操です。「身体に不都合のある人」、「健康を維持したい人」みんなで楽しく元気を取り戻しましょう。

四半世紀通う、「わがふるさと山陽小野田市」が、より一層の発展と活性化してゆかれるることを、こころから祈念しております。